

和地ひとみレポート No.419

新型コロナウイルスワクチン 3回目接種 東大和市でも接種開始を前倒し

■国が3回目のワクチン接種時期を変更

…新型コロナウイルスワクチンの3回目接種の時期について、厚生労働省は2回目の接種から原則8か月経過後としていました。しかし1月13日に、3月以降、2回目との接種間隔を一般の高齢者は6か月に、医療従事者や高齢者以外の一般の人は7か月に短縮するよう、自治体に通知。そのうえ、接種体制などに余力がある自治体に対しては、さらに前倒しして接種を進めることも要請しました。

…このような接種時期の前倒しについての通知を受けた自治体は、当初、8か月の接種間隔を前提に準備を進めてきたことから、この前倒しに対応できる接種会場や打ち手となる医師や看護師などの確保が課題に。オミクロン株の感染が拡大している中、3回目のワクチン接種を前倒しした方が良いという声が多くあったため、実際のワクチン接種実施を行う自治体としては、多少は前倒しになるのではないかと予測もしていたと思いますが、肝心のワクチンが、いつ配布されるかの目途が不明だったため、具体的な対応が出来ずにいました。しかし、今回の国からの通知により、多くの自治体が前倒し接種の準備を始めました。

■東大和市の対応は

…東大和市においては1月15日発行の市報の1面で“新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目)の受付を開始します”と、様々な情報を掲載。しかし、市報の原稿を印刷会社に入稿した時は、国の接種時期前倒しの通知が来る前だったために、その原稿内容は2回目の接種から原則8か月以上経過したことを前提としたスケジュールとなってしまっています。

…市は、13日に国からの通知を受け、すぐに東大和市医師会に協力依頼。市の集団接種会場(旧みのり福祉園)での接種は、1月15日号の市報と同様の2月5日(土)からの開始予定で前倒しは出来なかったものの、医師会の協力により、市内の一部医療機関における個別接種を前倒しで実施することとなりました。

【東大和市のワクチン追加接種(3回目)の前倒し】 ※1月13日現在の予定内容

◆接種券の発送について

対象者の接種券については、1月20日(木)以降、65歳以上の方など、2回目の接種終了が早い方から順次、前倒しで郵送。その後においても、順次前倒しで接種券を郵送できるように準備を進める。

◆個別接種の前倒しについて

市内の個別接種を実施している一部の医療機関において1月21日(金)から接種を開始。接種券が届いた方から追加接種は可能となる。



- ◇1月21日(金)から接種可能な医療機関:3施設
- ◇1月24日(月)以降、接種可能な医療機関:21施設
- ※旧みのり福祉園での集団接種については2月5日(土)から開始する予定。

◆市民への周知について

速報として市公式 SNS で発信。市ホームページと市報2月1日号に記事を掲載。

…「市民への周知」については、上記のとおり LINE、Twitter、Facebook といった SNS において「前倒しを実施する」という概要は発信されていますが、市ホームページは、1月15日時点では、古い情報のままです。市も「詳細が決まり次第…」としているため、詳細については、まだ、詰めなければならないこともあるのではないかと思います。

…個別接種を実施している市内の医療機関は、今年の12月27日現在27施設ですが、1月21日から開始の3施設、1月24日から開始の21施設がどこなのかは、現時点では情報公開されていません。郵送されてくる接種券とともに、最新の情報が同封されてくると思いますので、慌てず、郵送を待つしかないと思います。

■市内の感染状況は

…緊急事態宣言が解除されてから、少し情報から遠ざかっていた市内の新型コロナウイルス感染者数ですが、今年の9月に公表された感染者数は9月のみで148名だったことに対し、10月は10名、11月は0名、12月は4名という状況でした。そして年明けの1月については、1月14日までで32名という状況となっています。

…また、1月からは小・中学生の感染の発生状況を市はホームページ等で公表しています。市は、人権尊重、個人情報保護のために学校名等は非公表としているため詳細は不明ですが、1月11日は中学生1名、1月12日は小学生1名、1月13日は中学生1名の感染が判明したとのことで、1月14日に感染が判明した中学生1名については、感染した生徒のほかに濃厚接触者がいると判断されたため、1月15日から19日までの間、感染した生徒と濃厚接触者が在籍する学年について学年閉鎖するとのこと。他の学年については保健所などの指導に基づき、学校内の消毒を実施したうえで学校業務を継続するとのこと。

…コロナ禍となって約2年。感染予防対策も日常になり、少し落ち着いた感もありましたが、ワクチンの追加接種など、再度、新たな情報へのアンテナを張らなければならない状況。このレポートでも出来る限り、タイムリーに情報をお届けしたいと思います。

国のコロナ関連の特別給付金等で市長の専決処分に



■一般会計補正予算(第9号)

…12月15日に閉会した令和3年第4回市議会定例会。この定例会でも国のコロナ対応の特別給付金についての一般会計補正予算(第8号)が、慌ただしく議案として上程されましたが、さらに、早く対応しなければならない予算を伴う案件が発生したため、一般会計補正予算(第9号)は、市長の専決処分とされました。

…この市長による「専決処分」とは、本来は議会が議決しなければならない件でも、時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などの際に、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、例外的に市長が議会の議決に代わり意思決定することです。今回の一般会計補正予算(第9号)は、国の“子育て世帯臨時特別給付金”について、当初は「現金給付5万円とクーポン給付5万円」とされていたものが、10万円全額現金給付を容認すると国が方針を変更したことを受けてのことです。

…さらに、令和3年12月13日の衆議院予算委員会において、岸田総理大臣が子育て世帯に対する給付に関連し、「自治体の判断により、地域の実情に応じて、選択肢として、年内からでも、先行分の5万円の給付とあわせて10万円の現金を一括で給付する形で、今回の対策の内容を実行することも、選択肢の一つとしてぜひ加えたいと私は思っています。」と答弁したことを受け、東大和市でも申請不要の対象者に対し、先行分の5万円を令和3年12月23日に振込、クーポン分だった5万円も年内に振込を終了させることに。よって、国の補正予算成立後の12月21日に一般会計補正予算(第9号)を市長が専決処分した旨の報告が市議会にありました。その結果、クーポン分だった5万円についても東大和市では12月27日に追加振込を行うことが出来ました。…この令和3年度一般会計補正予算(第9号)が発生した主な要因は前述のとおり国の“子育て世帯臨時特別給付金”ですが、その他の要因も。その概要は以下の通りです。

◆一般会計補正予算(第9号)

・補正予算額:歳入歳出ともに18億7,710万4千円の増額

・歳入:国庫支出金18億7,704万6千円
財政調整基金(≒市の貯金)5万8千円

・歳出:
→子育て世帯への臨時交付金関連 6億4,615万7千円
(=12,827人分)

※職員の時間外勤務手当や口座振込手数料などを含む。

→住民税非課税世帯に対する臨時交付金関連
12億1,730万9千円

※様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるように、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金として1世帯当たり10万円の現金の給付。このための職員手当や業務委託費なども計上。

・プッシュ型(申請不要):約9,400世帯

・家計急変★(要申請):約1,100世帯

★新型コロナウイルス感染症の影響を受けて令和3年1月から令和4年9月までの間で家計が急変(急減)し、世帯全員のそれぞれの1年間の収入見込み額が、住民税非課税水準に相当する額以下となる世帯。

→新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金関連
158万9千円

※当初申請期間が令和3年11月末までだったところ、令和4年3月末まで延長となったため。

→国のマイナポイント第2弾事業実施関連

1,204万9千円

※マイナンバーカードの普及を促進するとともに、消費喚起や生活の質の向上につなげるため、マイナンバーカードを活用して幅広いサービスや商品の購入などに利用できるマイナポイント(1人あたり最大2万円相当)を付与するための窓口受付等の準備を行う経費など。

・マイナポイント第2弾:令和4年1月1日より事業実施

・手続の支障等に係る市の窓口設置:令和4年2月上旬

…なお、“住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業”については、6億8,716万5千円を繰越明許費(歳出予算の経費のうち、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して使用する経費)に。また、市としては“子育て世帯臨時特別給付金”についても繰越明許費の設定が見込まれる=年度をまたいで実施することとなると考えているようです。

■コロナ関連で文字通り“バタバタ”だが

…このレポート表面の新型コロナウイルスワクチンの追加接種も、今回の一般会計補正予算も国の施策に基づくもの。国も、様々大変だとは思いますが、実際に事業を実施する現場となっている基礎自治体(東大和市)は、国の通知に素早く対応しなければならず、文字通りバタバタです。東大和市としては、近隣市に遅れを取らないように、なんとか頑張っている状況。昨年度に引き続き、新型コロナ関連の国の施策により例年にはない多くの件数の補正予算が発生していますが、それは言い換えると、通常には無い業務を市が多く行わなければならない状況ともいえます。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートナーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102